

今あらためて「平和」を考える

日時

2022年10月29日（土）
13時30分～16時30分

会場

放送大学広島学習センター 大講義室（3階）
広島市中区東千田町1-1-89（広島大学東千田キャンパス内）

定員

先着50名
参加無料要予約



第1部

13時35分～14時45分
ロシアのウクライナ侵攻後の
「ヒロシマ」の課題と役割

講師：川野徳幸

（広島大学平和センター長・
教授）



2022年2月24日、ロシアのウクライナへの軍事侵攻が始まった。当初、首都キーウをはじめ、東南部を中心に多くの地域が短期間で制圧され、この一方的な侵略行為は終結すると予測した専門家もいたが、現在もその悲劇は継続している。「核なき世界」と「平和な国際社会」の実現を標榜し続ける「ヒロシマ」は、今、何をすべきなのか。この講演においては、「ヒロシマ」の課題と役割という視点から、あらためて「平和」の意味を考えてみたい。

第2部

14時55分～16時05分
紛争から共生へー日本が
できることは何か？

講師：片柳真理

（広島大学大学院
人間社会科学研究科教授）



ロシアの侵攻によって起こったウクライナ紛争では、1990年代に旧ユーゴスラビアで行われた残虐行為に酷似した戦略が使われている。ウクライナ人に限らず、紛争を経験した人々と共生するために、日本は何ができるのか。講演者のボスニア・ヘルツェゴビナでの経験を交えつつ考察する。

お申込み先

放送大学広島学習センター

TEL: 082-247-4030（月曜・祝日を除く）

Web申込

